

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者様の試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称：	小児体外循環中の新鮮凍結血漿投与が止血効果に与える影響の調査
研究の目的	
心臓手術では人工心肺装置が心臓や肺の機能の一部を代行します。しかし、人工心肺装置を用いた手術では血を固まりにくくする薬を使うので、術後出血が問題となります。その対策として新鮮凍結血漿（fresh frozen plasma、以下 FFP）を定期的に投与して血漿フィブリノゲン濃度を高くすることで、術後に血液を固まりやすくして止血に努めます。止血効果を期待して、当院では人工心肺開始後 30 分毎に FFP を人工心肺回路から投与しています。この研究の目的は定期的な FFP 投与が止血効果に与える影響を評価することです。	
研究実施期間：	実施許可日～2025 年 12 月 31 日
対象となる方：	2014 年 1 月から 2024 年 12 月までの間、当院で人工心肺装置を使用して心臓手術を受けられた 0 歳から 4 歳の患者様
利用させていただきたい試料・情報について （他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）	
当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、身長、体重、血液検査結果、人工心肺記録を標記研究のために利用します。具体的には、輸血プロトコルの運用開始前後での症例の手術関連時間、出血量、輸血量、予後について比較検討し、輸血プロトコルの有用性について評価します。 なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号など個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います（これを匿名化といいます）。 研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。	

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者様の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学部門 井上 由希乃 E-mail : ykt.24110@hirosaki-u.ac.jp 電話番号 : 0172-33-5111(内線 PHS : 4922)
-------	--